

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成28年9月15日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690200227
法人名	株式会社 シモンズ
事業所名	介護サービスセンター水引グループホーム鹿野苑
所在地	鹿児島県薩摩川内市網津町4915番地1 (電話) 0996-31-2882
自己評価作成日	平成28年8月16日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成28年9月1日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

○当事業所は、活動を通して積極的に地域社会に出向き、社会との繋がりを大切にしている。地域の商店やお寺等、社会資源を活用する事により、入居前の「地域との繋がりの維持」、日常生活上の「生きがい」、「楽しみの提供」に取り組んでいる。

○入居年数が長くなり、経年によるADL（日常生活動作）の低下も徐々に見られる為、個々の状態にあわせて毎朝20～30分リハビリテーションを実施し、週に1回ADL別に3グループに分け、約1.5時間のリハビリテーションを行っている。また、個々の評価を3ヶ月に1回、外部の理学療法士に来て頂き、一緒に実施している。

○経年による認知症の進行が見られる入居者がおられ、IADL（手段的日常生活動作）、脳トレ等が難しくなっている。職員間で入居者様の「情報の共有」を行い、入居者様が今出来る事・したい事を可能な限り沿ったケアを提供できるよう検討している。また、本人様及び家族にも、どの様に関わり、参加して頂くかを家族を含めて話し合い、家族に対してフォローの充実を図っている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は隣接して同法人の居宅介護支援事業所やデイサービスセンター・自立支援事業所（ミニデイ）等があり、防災等の協力体制ができています。
- ・町内会に加入し、回覧板等で地域と情報を共有している。魚・野菜などの食材は地元から仕入れる等、地域との関わりを大切にしている。小学校の文化祭の見物に行ったり近くの神社の清掃を行い、地域行事や清掃作業に積極的に参加している。幼稚園生との交流や中学生のサマーボランティア体験学習や地域のボランティアの受け入れなども行っている。
- ・利用者が今できること・したいことを把握し、リハビリやカメラで季節の花を撮ったり・晩酌・喫煙・生け花・顔の手入れなど、張り合いのある日々を過ごせるように取り組んでいる。
- ・施設長や管理者は職員育成に力を入れ、職員の働く意欲を引き出している。職員はチームワークが良く勤務年数も長く離職者も少ない。自分の親を入居させたいホームとして取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ．理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	朝の申し送り時に理念を唱和し、職員間への周知を図っている。ユニット会議や職員会議でも理念に沿ったケアの実践について話し合いを行っている。	地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念を事業所内や職員のネームの裏に明記し、申し送り時に唱和し、ユニット会議や職員会議等で振り返り、理念を共有し実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の商店やお寺等社会資源の活用を行っている。散歩や神社掃除などを行い、地域住民の見守り声掛けが得られている。日中は、いつでも面会来て頂ける雰囲気作りに務めており、ご家族だけでなく地域の方の面会が頻回にある。	町内会に加入し、回覧板等で地域と情報を共有している。魚・野菜などの食材は地元から仕入れる等、地域との関わりを大切にしている。小学校の文化祭の見物に行ったり近くの神社の清掃を行い、地域行事や清掃作業に積極的に参加している。幼稚園生との交流や中学生のサマーボランティア体験学習や地域のボランティアの受け入れなども行っている。	
		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	自治会の清掃活動への参加をはじめ、河川の草払いを行っている。地域の「いきいきふれ愛サロン」に出向く等、地域住民へ認知症理解の支援活動を行っている。運営推進会議に地域住民に参加して頂き、勉強会を行っている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	日々の活動内容や入居者の状況及び、現在取り組んでいる事や課題などの報告を行い、意見交換を行っている。また、日々の活動内容については、パワーポイントを用いて、入所者の表情を見てもらうようにしている。	会議は定期的開催している。パワーポイントを使い事業所の日常の状況報告やテーマを決めての研修、外部評価の報告などを行い、参加者から多くの助言や提案が出され、助言で不審者対応などに地域の見守りの協力などを貰い、サービス向上に活かしている。	
4		○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	市の担当者に運営推進会議に出席して頂いている。また、広報紙を持って地域包括支援センターや市の担当者を訪問し、活動や利用者の状況を伝え、協力関係を築く取り組みを行っている。	市の担当者には、電話や窓口に出向き事業所の実情や取り組みを伝え、2～3ヶ月毎に広報誌を届けている。市主催の研修にも積極的に参加して連携をとっている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	委員会を設置し、月1回会議を行い、拘束の有無を確認している。年2回の勉強会を行い、職員に対し、拘束に対する意識の徹底を図るだけでなく、ユニット会議や職員会議でも職員間で話し合い、現状の把握と対策について検討している。	身体拘束廃止委員会で月1回会議を行い「拘束は絶対しない」を掲げている。年2回事例や課題について勉強会を実施し、職員の共通認識を図っている。言葉による拘束についても日々確認し配慮している。日中の玄関の施錠はせず、見守りや同行するなど職員間の連携で安全な暮らしを支援している。地域の見守りもある。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	年間研修計画に身体拘束についての研修を組み込み、全職員に対して、研修を行っている。また、入浴時に皮膚観察を行い、身体的虐待の有無確認を行っている。スピーチロックについては、職員同士で声掛けすることで意識し、入居者様に声掛けを行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	委員会による勉強会を開催し、職員間の情報の共有と知識の徹底を図っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入所時に全て説明を行い、同意を頂いており、不安や疑問点についても必ず納得されるまで説明を行っている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族の意見、入居者の意見については、契約時の説明を行う際に希望や疑問点を伺っている。また、面会時・電話連絡時・ケアプラン更新に伴う説明時にも同じように伺っており、意見を反映する事が出来るように努めている。意見箱の設置だけでなく、運営推進会議の議事録を自由に閲覧できるようにしている。家族会を開催し、意見を聞き、運営に反映させている。	利用者からは日々の関わりの中で意見や要望を聞いている。家族からは面会や家族会・電話連絡時・ケアプラン更新時・施設の行事・外食の付き添い参加時等に意見を聞いている。出された喫煙や晩酌・カメラ利用・ひげそり習慣などの要望を職員で話し合い、優先して取り組んでいる。意見箱も設置している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月、ユニット会議と職員会議を行い、職員の意見を反映できる機会を設けている。職員個人の意見は、年2回の施設長面談の他、年3回の目標管理の面談を行っており、その際に意見を反映できる様、努めている。	管理者は年2回、個人目標の経過や反省について職員と面談を行っている。日常業務の中でも気軽に疑問点があればアドバイスをしている。毎月のユニット会議や職員会議も意見が多く出され、運営に活かされている。年2回の施設長面談や年3回の目標管理の面談を実施し、出された意見で蒸しタオルを使い顔の手入れをするなど、支援に反映している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	年2回の施設長面談の他、主任による年3回の目標管理の面談時に職員の勤務状況・実績・意欲等を確認している。また、意見を聞き、楽しく働ける環境づくりについて話し合うことにより、意欲・向上心の維持に努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	教育委員会を設置し、年間の勉強会・研修について職員の希望を聞き、計画して実施している。また、本人の要望があれば施設外研修に参加してもらい、その後に研修報告を行う事により、職員間で知識の共有が出来るように努めている。新人職員に対しては、指導者をつけ、3ヶ月間の教育プログラムを作成し、6カ月・1年のフォローを実施している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会に所属しており、協議会の主催する研修へ参加している。その際行われるグループワークを通して、他事業所とのネットワーク作りを行っている。また、業者等の主催する研修を通じてネットワーク作りを行っている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	契約書などについては、1つ1つ読み上げ、入居者の苑での生活について理解を得られるように努めている。また、契約時に本人の希望・要望を聞き取っている。その中で、入居者が不安なことについては、意見や要望が取り入れられるように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	契約書などの説明時、苑での生活について理解を得られるように努め、家族の意見やニーズ・要望を伺いケアプランを作成している。面会時にも希望や要望を伺う事で、随時家族の意見を取り入れる事が出来るように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	契約時、本人様と家族の希望や要望を聞取っている中で、本当に家族や本人が求めているニーズが何なのかを見極める様に努めている。話をしている中で、他のサービスが利用者や家族にとってより望ましい形であると考えられる場合は、他のサービスを案内している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は入居者に対して、その都度、意見や思いを尊重している。日常生活の介助だけでなく、家事活動の手伝いをして頂いたり、時間をみてコミュニケーションを取り、会話を楽しんでいる事で、暮らしを共に築く関係を築いている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	いつでも面会に来られる雰囲気作りに取り組み、面会時に今の状態を説明を行い、本人の様子を納得して頂いた上で希望や要望を伺っている。また、いつでも外出や外泊が出来るように対応している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	いつでも面会が出来るようにしている。また、お寺・神社・近くの商店等、地域の社会資源を活用する事で途切れる事のない関係づくりや、個別ケアを行う事で、馴染みの人や場所を維持できるように努めている。	親戚や友人・知人等の訪問はゆったりと過ごせるように配慮している。個別ケアで行きつけの理美容院や買い物・墓参などにも同行している。電話の取次ぎや手紙の手伝いも行っている。家族の協力で外出や外泊・外食などの支援をしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者同士のコミュニケーション時に見守りを行い、関係性の把握に努めている。また、関わりの薄い入居者には職員が積極的に声掛けを行い場面を設ける事で、孤立感の軽減を行い、入居者同士の橋渡しができるようにしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	いったん退所となったとしても連絡を取り、相談に応じるなどの支援を行った結果として、再入所の運びとなった入居者様もいらっしゃり、適切なフォローが出来ているように努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常生活での、会話やご家族の情報で一人一人の希望や思いを把握し、焦点情報に記入を行い、職員間で情報の共有を行っている。困難な場合は現状の維持を目標に実施している。	日々の関わりの中で、言葉や表情などから思いや意向の把握に努め記録に残し職員間で共有している。困難な場合は家族や関係者からも情報を得、利用者の視点に立って職員で話し合い、本人中心に支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前に事前訪問を行い、状態の確認と今までの生活歴や生活環境等を聞き、確認を行っている。その他、居宅支援事業所のケアマネジャーや家族より情報を得て、経過の把握を行っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	これまでの生活歴や苑での日常生活の中で本人らしい一日の過ごし方を把握し、毎日1～2検のバイタル測定や本人からの訴えの傾向から心身の状態を把握している。焦点情報等を活用し、有する力の把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当者制を行っており、担当者が月に1回受け持ちの入居者様のモニタリングを実施し、今後の目標や課題を掲げ、毎月のユニット会議で検討を行い、職員間で情報の共有を行っている。その他、ご本人やご家族にも要望等を聞き、3カ月に1回の焦点情報に反映し、その情報を基に介護計画を作成している。	本人や家族・必要な関係者の意向を確認し、主治医の意見も取り入れ、個々に応じた介護計画を作成している。利用者の担当職員が毎月モニタリングを実施し、ユニット会議で検討を行い、3ヶ月毎に見直している。状況が変化した時は現状に即した介護計画を作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日常の様子は、経過記録やチェック表（排泄・食事・水分等）バイタルサインを毎日記録し、朝夕の申し送りで入居者の状態を共有しながら実践へ反映している。問題が発生した時は、その都度カンファレンスを行い、介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族の思いをニーズに対しては、いつでも支援できるように柔軟に対応を行っている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域のお寺・神社・商店との繋がりをもち、馴染みの関係を継続している。お寺は毎月15日にお参りに行き、散歩しながら神社掃除を行っている。また、地域にある病院の行事にも参加させて頂いている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人様・家族が希望されるかかりつけ医を受診できるように支援している。看護師が「健康情報提供書」を作成し、主治医との連携を図っている。各入居者の受診後の情報報告は、申し送りで行き、記録に残して共有できるようにしている。	かかりつけ医は本人や家族の希望を継続している。「健康情報提供書」を基に主治医と話し合い、受診状況は家族に連絡し共有している。緊急時の対応など連携を取りながら適切な医療が受けられるよう支援している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとれた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護職員は、日々の中での気づき・異変等を看護師へ報告・相談を行っている。また、状態に合わせて適切な受診ができるよう支援している。また、看護師も介護業務に携わっており、情報共有が行えている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者の入院時には、看護師がサマリーを作成し、情報提供を行っている。また、早期退院ができるよう医師・看護師・ソーシャルワーカーと連携を図り、情報交換・相談に努めている。日頃から、こまめな情報交換が行われることにより病院との関係づくりが図られている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期に向けた指針については、入所時にも家族に説明を行っている。また、状態変化の都度、家族・看護師・職員・医師を交えてのカンファレンスを行うことで、今後の支援の方向性を決めている。	契約時に重度化に伴う対応の指針を説明し、同意書を貰っている。状況変化に伴い本人や家族と話し合い、事業所でできることを十分に説明しながら、家族と方向性を共有できるよう取り組んでいる。職員は関連の研修を行っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	利用者の急変時に、キーパーソンや主治医への連絡をスムーズに行う事が出来るよう連絡帳を作成し電話の横に置いてあり、またマニュアルを作成し、いつでも見れるようにしている。また、全職員・勉強会・職員会議などで応急手当や初期対応の勉強会を行い、訓練をしている。また、看護師がいつでも指示できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	火災については、防火管理者を配置し、年2回の防火訓練を行い、災害時の対応を周知・予習を行うことで、作業の効率化を図っている。また、原子力発電所が近い為、市役所等と連携を図り、対応の確認を行っている。地域の連携については、防災訓練時に地域の消防の参加及び、都合が合えば近隣住民にも参加して頂き、災害時の協力依頼・手順の確認を行っている。	年2回消防署立会いのもと、昼夜想定避難訓練を実施している。原子力発電所災害時における避難経路図の確認や対応を市役所と連携を図っている。スプリンクラーや緊急通報装置も設置され、地域との協力体制もできている。災害時の水や米・缶詰・調味料・食料等の備蓄がある。カセットコンロ等の防災器具も準備されている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個々の人格については、声掛けを行う際や介助時に尊重するように注意している。活動の参加、介助方法等、声掛けし、本人様に了解頂き実施している。プライバシーについては、個人情報の取扱いに細心の注意を払う他、トイレ時、入浴時、居室の入退出時等、可能な限りプライバシーの尊重が行える様、職員間でも注意を呼びかけ合っている。また、人権擁護委員会で勉強会を行い、知識の共有・統一は図られている。	マニュアルに沿って勉強会を行い、言葉の慣れ合いにならないように、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけに取り組んでいる。定期的に事例などを出して研修を行っている。入浴やトイレ誘導・入室時には羞恥心に対する配慮ある支援を行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	各活動、介助時に声掛けを行い、是非を本人に伺っている。また、2カ月に1回個別ケアを行っており、墓参り・外食等本人の希望に可能な限り沿った日常生活を送って頂けるように支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	各活動、介助時に声掛けを行い、希望があれば居室で休んで頂く等、本人のペースで過ごして頂け様に支援している。その際、畑仕事等の趣味活動をされる方もいらっしゃる、その人らしい生活を送れるように努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	毎朝9時頃より、蒸しタオルで顔をむし、鏡を見ながら化粧水つけ、化粧をされたり、顔の筋肉の体操をされたりしている。男性は、化粧水をつけ、髭剃りをされ、入居前と変わらない、その人らしい身だしなみが行われている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	好き嫌いのある入居者様には、可能であれば他の品へ変更して提供している。食欲が低下している方へは、好きなものを提供することにより食事を召し上がって頂けるよう支援している。昼食・夕食の準備は盛付を行ってもらい他、おかづ作りを実施し、作る楽しさや食べる楽しさを提供することが出来ている。	利用者の体調や好みをよく把握し旬の食材で利用者の希望に添った献立や食事形態を工夫している。準備や盛り付けなどにも一人ひとりの力を活かしながら職員と一緒にやっている。季節の行事食や個別ケアで外食を取り入れるなど食事が楽しみなものになるよう工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分・食事の摂取量は一人一人個別にチェックを行なっている。水分摂取少ない方には、好きなものを提供している。飲み込みの悪い方には、ミキサー食・軟食・刻み食にして提供している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	起床時・毎食後に口腔ケアを促し行っている。自分で出来ない方には、介助でスポンジブラシを使用して行っている。舌の状態を毎日チェックし、必要な入居者には舌のケアも行っている。また、定期的に歯科医の往診があり、口腔チェックも行ってもらっている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表をつけ、個人の排泄パターンを把握し、それに合わせてトイレの時間誘導を行う事で排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄チェック表を毎回記録して見守り様子観察を行い、早めの気づきで声かけし、トイレでの排泄や排泄の自立を支援している。布パンツに改善された事例がある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	起床後すぐに、冷水・牛乳を提供している。一人一人の水分摂取量を把握し、調整している。毎朝、歩行訓練を取り入れ、運動をしている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴は、声掛けを行い実施を決めている。入られない場合は、時間・日をずらす等の対応を行い、楽しんで入浴して頂けるよう支援している。	入浴は基本的に週3回になっているが、個々人の体調や希望にそって柔軟に対応している。入浴が楽しくできるように会話など工夫している。入浴日以外は足浴を行い、清潔保持に努めている。入浴を拒む利用者には声かけや時間調整など職員間で連携して、状況改善に努めている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入眠については、ご本人の希望の時間に入眠して頂いている。活動以外の時間は、リビングや居室で過ごして頂く等、気持ち良く休息して頂けるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	病院受診時に、内服薬の変更などがあった場合、用法・目的等を申し送り、周知している。また、服薬セット用の薬袋を作り、薬名・効能を記入し、3回のチェックを行い薬に対する意識づけを図っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	手拭きをセットする人、ミニ畑を作り管理している人、テーブル拭きをする人など、苑の生活の中で役割作り取り組んでいる。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	2カ月毎の個別ケア・毎月の外食外出・ドライブ・買い物・お寺参りに行って頂いている。また、地域のお祭りや文化祭などのイベントにも参加している。ご家族との外出や外泊なども希望があれば、いつでもできるように支援している。外出時は、家族に声掛け、ボランティアの方の協力も得ている。	外出できる機会を多く持てるように取り組んで実践している。日常的には周辺の散歩を楽しんでいる。毎月外食や外出・買い物・ドライブ・お寺参りに出かけている。2ヶ月毎に個別ケア計画を立て、家族の協力で、理美容院や温泉・墓参などに出かけたり、外泊や外出などの支援をしている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	職員の管理で、お金を使用されている。自己管理で所持される方には、ご本人・ご家族の了承のもと職員が金額を把握するようにしている。管理が難しい方についても、自動販売機や近くの商店を利用できる様支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	ご本人様が電話することが、難しい場合は職員が電話をかけ、ご本人に替わる等の対応を行っている。個人で携帯電話を持たれている方は、職員が引き継ぎ・充電等の対応を行っている。手紙についても、ご本人の要望があれば手紙を書いて頂き、職員が投函したり、職員と一緒にポストへ投函しに行ったりしている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間・居室は毎日清掃し、清潔を保っている。西日が当たり過ぎないように日よけを設置したり、窓のコマメな開閉を行い換気を行うとともに、空調での温度・湿度の調節を行い、過ごしやすい環境づくりに努めている。また、毎月カレンダー作りに取り組んで頂くことで、季節を意識できるようにしている。	共用空間は、採光や換気・温度・湿度に配慮し清潔である。中庭に出たりユニット間は自由に行き来できる。壁には手作りのカレンダーや季節を大事にした花や飾りつけがなされている。日中部屋に閉じこもりにならないように取り組んでおり、犬や猫と一緒に好みのソファで居心地よく過ごせるような工夫がされている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	3人掛けのソファが複数あり、気の合う方々は一緒にソファで過ごされている。一人になりたい方も、ソファが複数ある為、ゆっくり一人の時間を過ごすことが出来るようにしている。また、中庭を自由に散策されている方もいる。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時をはじめ随時、使慣れたものを苑でも使用して頂けるよう対応している。また、ご本人より希望があればご家族と相談し、持参して頂くなどの対応を行っている。	居室は電動ベッドやダンスが備え付けで、個性的に整理され、利用者と家族が話し合いながら部屋の環境を整えている。カメラや時計・生け花・写真など使い慣れた物や家族の思いが伝わるものが持ち込まれ、安心して過ごせるよう配慮されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	リビングの座布団を個人持ちにして頂き、場所の認識作りを行っている。また、場所の表示や表札を大きくしたり、「トイレ」などの目印を大きくするなど、自力で行える様支援している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない